令和元(2019)年 11 月 7 日

保護者の皆様

豊能町立東能勢小学校
校 長　新 倉　英 俊

平成 31（2019）年度全国学力・学習状況調査の結果について

深秋の候，保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は，本校の教育活動推進にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて，4 月 18 日に行われました平成 31 年度全国学力・学習状況調査の結果が 8 月に文部科学省より公表されました。該当学年の 6 年生児童には個人結果を返却しましたが，本校全体の結果につきまして概況を報告いたします。

調査内容は，国語・算数（今年度から A 問題「主に知識」と B 問題「主に活用」を一体化して実施）と児童質問紙（生活習慣や学習に対する意識等の調査）です。

今回の調査の問題や質問紙の内容は，国立教育政策研究所のホームページ（http://www.nier.go.jp/）で公表されています。また，豊能町の結果概要と分析，今後の取り組み等は，町ホームページ（http://www.town.toyono.osaka.jp/）に公開されていますのでご覧ください。なお，この調査における結果は，児童が身に付けるべき学力の特定の一部分であることにご留意ください。

１．学力調査の結果

国語

平均正答率は，大阪府・全国より大きく下回っており，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全ての領域において，大阪府・全国平均より大きく下回った。

●目的に応じて質問を工夫したり，話し手の意図を捉えながら聞き，自分の考えをまとめたりすることについては，全国平均を大きく下回っていた。

●目的や意図に応じて，自分の考えの理由を明確にし，まとめて書くことについては，全国的にも正答率の低い問題であったが，全国平均を下回り，多くの児童ができていなかった。

●目的に応じて，文章の内容を的確に押さえ，自分の考えを明確にしながら読んだり，本や文章全体を概観して効果的に読んだりすることに課題がある。

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことについて，全国平均を大きく下回っていた。

●文と文のつながりを考えながら，接続語を使って内容を分けて書くことができていなかった。

●ことわざの意味を理解して，自分の表現に用いることについては，全国平均を大きく下回っていた。

【改善の工夫】

◇目的を明確にして情報を関連付けながら聞いたり，一番聞きたかったことを中心に自分の考えをまとめたりする場を設定する。

◇説明文での学習を「書く」学習に生かす。

◇自分の考えを明確に伝えるために，収集した情報の中から必要な内容を取捨選択し，適切な記述の仕方を考えるように習慣付ける。

◇調べ学習などを積み重ねる中で適宜指導し，本や文章全体から必要な情報を得るための効果的な読み方を身に付ける。

◇新出漢字を繰り返し練習するだけでなく，学習した漢字は，意識して日常的に文や文章の中で適切に使うようにし，定着を図る。

◇様々な場面を捉えて，接続語の役割を理解させるとともに，書いた一文が長くて分かりにくい場合には，接続語を使って複数の文に分けて書き直す指導をする。

◇ことわざを用いる機会を国語の授業や日常生活の中で意図的に設定し，実感をもって捉えたり，使ったりできるようにする。

算数

平均正答率は，大阪府・全国より下回っており，「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の全ての領域において，大阪府・全国平均より下回った。ただし，「数量や図形についての知識・理解」においては，大阪府・全国と比較して平均正答率は上回っていた。

〇台形については，多くの児童が理解できていた

。

●示された計算の仕方を解釈し，減法の場合を基に，除法に関して成り立つ性質を記述することについては，全国的にも正答率の低い問題であったが，全国平均を下回り，多くの児童ができていなかった。

●複数の数量から必要な数量を選び，立式することについては，全国平均を大きく下回っていた。

●示された図形の面積の求め方を解釈し，その求め方の説明を記述することに課題がある。

●場面の状況から，単位量当たりの大きさを基に求め方と答えを記述し，その結果から判断したり，資料の特徴や傾向を関連づけて判断し，その理由を記述したりすることについては，全国平均を下回り，約半数の児童ができていなかった。

●図形の性質や構成要素に着目し，図形をずらしたり，回したり，裏返したりすることで，ほかの図形を構成することについては，全国平均を下回っていた。

【改善の工夫】

◇四則計算が確実にできるようにするとともに，数を多面的に見て，計算に関して成り立つ性質を活用し，能率的な計算ができるようにする。

◇複数の式を一つの式に表す活動を行う。

◇計算に関して成り立つ性質を，算数の用語を用いて言葉で表現させる。

◇多くの情報の中から必要な数量を選択し，立式させ，その式の表すことを説明させる。

◇求め方を考察し，式で表現して，説明し合う活動を設定する。その際，数の意味や演算の意味などを図などと関連付けて説明できるようにする。

◇日常生活における場面の状況を数理的に捉え，数学的に表現・処理できるようにする。
◇色板などの具体物を操作しながら図形を構成したり分解したりして，図形についての見方や感覚を豊かにする。
◇目的に応じて必要な資料を収集し，複数の資料の特徴や傾向を関連付け，一つの資料からは判断することのできない事柄についても判断できるようにする。

２．児童質問紙調査の結果

児童質問紙の項目のうち，国立教育政策研究所の分析報告書より，学力と一定の関係の見られるものについて掲載します。

◎肯定的回答が全国の数値より高く，当てはまるが全国の数値より高かったもの
○肯定的回答が全国の数値より高かったもの
●肯定的回答が全国の数値より低かったもの

【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】
○先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思う。（全児童が肯定的回答をしている）
●自分には，よいところがあると思う。
●学校のきまりを守っている。
●学校に行くのは楽しいと思う。
●人が困っているときは，進んで助けている。

【学習習慣等】
◎昼休みや放課後，学校が休みの日に，本を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館に月に１回以上行く。

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】
●学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができると思う。
●課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思う。
●自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。
●道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う。

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】
◎国語の授業の内容はよく分かる。
○国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役立つと思う。（全児童が肯定的回答をしている）
○算数の勉強は好きである。
○算数の勉強は大切だと思う。
○算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役立つと思う。（全児童が肯定的回答をしている）
○算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
●国語の勉強は好きである。
●国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり書いたりしている。
●国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき，うまく伝わるように理由を示したりするなど，話や文章の組み立てを工夫している。
●国語の授業で文章や資料を読むとき，目的に応じて，必要な語や文を見つけたり，文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる。

多くの児童が，「国語の授業の内容はよく分かる」と回答しているが，学力調査での正答率は全国と比べて大きく下回っている。「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくりを進め，指導の工夫をしていく必要がある。

また，全児童が，「先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答しており，教職員は積極的に児童のよいところを認めていると言える。しかし，児童の自尊感情や自己有用感は低く，全国平均を大きく下回っていた。学習の分かりにくさが，自己を否定し，自己肯定感を下げているものと思われる。それは学校を楽しいと思えない原因ともなり，その不安定さから，規範意識も低くなっていると考えられる。

３．おわりに

学力は，積み上げられていくものであり，６年生の課題は，１年生から５年生までの課題として捉え，学校全体で課題の克服に向けて取り組んでいきます。

学校では，児童の「確かな学力」を育むために，日々の授業を重視し，各学年における基礎的・基本的な知識の確実な定着を図り，獲得した知識を活用できる力を育むための授業をつくっていきたいと考えます。そのために，継続して「東のせ学びのスタンダード（学習規律）」を徹底し，「とよの授業スタンダード」に則った授業をすすめていきます。また，毎日行われる授業の中では，児童同士が学び合い，つながる場面の設定を大切にしていきたいと考えます。それは，学び合いによってわかったり，できるようになったりすることが，児童の学力を向上させるだけでなく，学習意欲や自己肯定感をも高め，児童と児童の豊かな人間関係も育むことができると考えるからです。そのためには，教員の授業力の向上が欠かせません。児童が前向きに学習に取り組むことができるよう，児童の実態を十分把握し，指導方法や指導体制の工夫改善を図り，日常の学習指導を充実させていきたいと考えます。

今後とも，ご家庭や地域の皆様と連携しながら取り組みを進めてまいりたいと思いますので，学校教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。